



健康ワンポイントアドバイス

献血と新型コロナウイルス感染症

献血で救える命

血液は人間の生命を維持するために不可欠なものです。国内では1日当たり約3千人が輸血を受け、命をつないでいます。医療機関へ血液を安定的に届けるには、絶えず誰かの献血が必要です。

新型コロナウイルス感染症の拡大と献血者の減少

新型コロナウイルス感染症の影響で、職場や学校などでの集団献血の中止が続いています。このため、主に400mℓ献血に由来する赤血球製剤の在庫量の減少が続いており、このまま推移すると医療機関への安定供給に支障をきたす恐れがあります。現在は、北海道や九州などから多数の支援をいただき、医療機関へ供給をしています。献血は短期間に何度もできないため、より多くの人の献血が必要です。

献血の種類は？

献血には、血液中の全ての成分を採血する全血献血(200mℓ・400mℓ)と、特定の成分だけ採血する成分献血があります。全血献血のうち、200mℓ献血は16歳

以上、400mℓ献血は男性17歳以上・女性18歳以上で、体重が50kg 以上の人をお願いしています。

ワクチンを接種したけど献血はできる？

新型コロナウイルスのワクチン接種後は、次の期間献血をご遠慮いただいています。

- 武田社製(ノババックス)：24時間
- ファイザー社製、モデルナ社製：48時間
- アストラゼネカ社製、ジョンソン・エンド・ジョンソン社製：6週間

そのほかのワクチンについても献血をご遠慮いただく期間があります。

※令和4年12月時点の情報です。

予約をしたほうがいいの？

予約なしでも献血はできますが、予約を行っている会場では、予約の人が優先して案内されます。一時的な密を回避するためにも、予約をお願いします。

くわしい内容は、ホームページ(<https://www.bs.jrc.or.jp/ktsks/chiba/index.html>)か電話(☎0120-892-760、平日の午前9時～午後5時)で確認してください。

【千葉県赤十字血液センター】